

～ ぶらっと訪問 名護市立稲田小学校 ～

10月10日。私の自動車免許の更新と所用で1日休みを頂いた。お昼前に思わぬ時間ができたのでの稲田小に寄らせてもらった。何の前触れもない訪問者であったが、教頭先生は快く校長先生へつなげてくれた。ありがとうございます。感謝！



学校は「忙しい。」確かにそうである、忙しくない学校なんて聞いたことがない。

肝心なのは何に時間を要しているかだ。そして校内の一部の人だけがその「多忙感」を背負っているようでは、必ずつらい思いをする職員が出てくる。『同僚性を高める。』とは、職員が互いに声を掛け合い、気遣い、支え合い、教師個人の不安や多忙感を和らげ、教師としての力量や、一人の人間としての生き方を高めていくことが『同僚性を高める』ことであると考え。 「一人の教師も絶対に孤立させない。」これが学びの共同体の理念でありビジョンである。

さて、上の写真、校内童話大会に向けて校長先生が代表児童の題目を、校長室で毛筆で書いているところである。これだけ印刷機が使われている中で、すごい懐かしさと温かさを感じる。校内大会終了後に記念にもらえたら、保護者も大喜びする宝物になるのではないだろうか。しばらく校長室で校長先生の書きっぷりを拝見させていただいた。筆を持っている時の眼、「ふう」と書き終えて、私と会話するときの眼がまた全然違う。多忙の中、私との会話中は常に笑顔である。校長先生の器の大きさと、思慮の深さを感じた。同じような眼が職員や子ども達に向けられる。「これまでの稲田小」から「これからの稲田小」に、子ども達の未来に向かって熱意を注ぐ教師達の挑戦の姿が校長先生の姿から目に浮かぶ。

☆文中の児童生徒の名前は全て仮名である。

【 誰もいない教室で。 教室も授業も日常が大切！ 】 無断侵入ではありません。担任もいました。



教室と授業は日常が大切である。私が常に言い続けている「日常」の稲田小5年生の教室のである。

美しい！左写真、掲示物やロッカーのこだわりを見てほしい。写真中、校外学習新聞であろうか、子ども達の「学び」の跡として丁寧に掲示されている。右写真、教師の理念とビジョンである。『私はこんな学級にしたい。』教師の学級経営のこだわりは絶対に必要である。「こんなことを大切にしたい。」「こんなことは絶対にゆるしたくない。」「一人残らずみんながハッピーでありたい。」教師の信念へのこだわりも不思議なことに子ども達に伝わるものなのです。先日、学びの共同体のスーパーバイザーの村瀬先生を招聘して、この教室で授業研究が行われたらしい。担任は、その時の子ども達の様子を、目を輝かせて私に語ってくれた。

【 1年生 おてつだいの れんしゅうをして・・・ 】

ステップ：お手伝いのコツをお友達にしょうかいしよう。

ジャンプ：しごと名人をめざそう。

1年の教師も挑戦である。学習段階に「ジャンプ」という言葉がうれしい。1年生は「1年生なりに」、教師も「私らしく」である。低学年は難しい、教師はこの子達にどのように「学び」を仕組んでいけばよいのか？迷いや不安がきつとある。一人の教師の不安や

疑念は、ぜひ同僚みんなまで共有してほしい。写真、「ぼくは、ぼくなりになりに精一杯頑張る。」である。子どもを見つめる教師の姿と、目線に安心する。

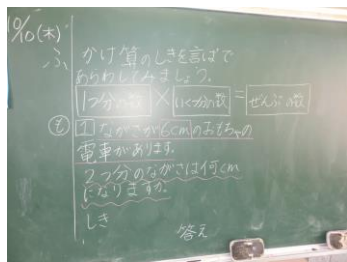


【安心できる職場！】



職員室中央テーブルでの昼食、いつも和やかである。「和やか」これだけでもかなり大切である。

【 2年 算数 S先生 】ずうずうしく授業を拝見させていただきました。



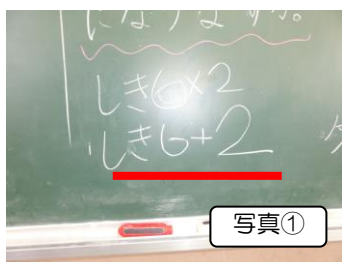
教師達の挑戦である。先日、5年生の算数の授業研究会を終えた。S先生も、教室をコの字にし、この後小グループ活動を設定した授業展開で進めている。今年度からの新しい教師個人の挑戦でもある。不安や迷いがいっぱいあるだろう。でも「やってみよう！」未来へ向かって。素晴らしい！

【 共通課題①を下ろす 】 グループに課題を下ろした途端にこれである。びっくりでした。



教師は「分からなかったら、友達に訊くんだよ」ひと声かけて教室の仲間たちに任せてみる。写真を見て下さいこの通りです。教師の不安をよそに子ども達は勝手に聴き合い、学び合い、支え合いの世界に入る。びっくりなのはすべてのグループがこの状況にあることです。

【 共有する 】



写真①

授業者は、6+2と、間違っただどもの例をあえて取り上げた。写真②、まちがいを正そうと出てきた子どもである。でもなかなか言葉が出てこない、よくある2年生ですね（かわいい）。写真③、授業者は、困ったお友達に助け船を出した。黒板の前で二人の相談が始まる。しばらくして、写真④である。「これでいい」教師に視線を送り確認を問う子どもである。なんと素敵な笑顔である。教師に「安心」をせがむ顔ですよ。本来なら「仲間に確認して」だが、でも、そこは2年生、教師への確認が一番「安心」するのでしょうか。もじもじ、たどたどしい発表だったがすべてが許せる。



写真③



写真②



写真④

【 聞き合う 】 授業者が課題を下ろすとすぐに教室がこの状態になる。周りのみんなが「なんで?」「これでいい」疑問や確かめが「対話」によって交流する。



『聴く』である。上の写真①～④の仲間の発表を『聴く』仲間である。



S先生、ありがとうございました。すてきでかわいい2年生です。「学び」スタイルの授業展開。「話すより聴く」、「発信より受信」、「すごい授業よりすてきな授業」。少しずつ見えてきたようですね。まだまだ不安はあると思いますが稲田小の同僚と不安や迷いを共有しながら「焦らず、ゆっくりに、笑顔で」挑戦してください。素敵な授業ありがとうございました。

右写真、休憩室の畳の間になぜか大量の「いも」、なんと教材園からの収穫らしい。校長先生の自慢の笑みがまたいいですね。近々、芋ほり大会をかねた「焼き芋会」が予定されていると聞きました。先生方と子ども達の楽しいそんな笑顔が目に見えます。

